

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 指導員研修費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 人材育成係 電話番号：058-272-1111 (内 3126)

E-mail: c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 734 千円 (前年度予算額：749 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	749	358	0	0	0	0	0	0	391
要求額	734	332	0	0	0	0	0	0	402
決定額	734	332	0	0	0	0	0	0	402

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国際たくみアカデミー職業能力開発校 (美濃加茂市) 及び木工芸術スクール (高山市) の職業訓練指導員が訓練を実施する上で必要な資格の取得と訓練指導の資質向上のために研修の受講が必要である。

(2) 事業内容

- ・ 訓練実施に必要な資格を取得及び保持に必要な研修
- ・ 資質向上に必要な研修

(3) 県負担・補助率の考え方

職業能力開発設備整備等補助金充当 (厚生労働省)
補助対象経費の 3 / 4 補助

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	576	業務旅費
需用費	0	テキスト代等
負担金	158	研修負担金
合計	734	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

後年度も同様に実施していく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
職業訓練実施にあたり、職業訓練指導員に必要となる資格習得と訓練指導の資質向上を図るため、研修を受講する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

職員が業務上必要な資格取得等を行うものであり、数値目標を掲げることは適当でない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
受講研修数 22 コース

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
労働安全衛生法に基づく適正な訓練を実施した。
職業訓練において内容の充実を図った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	職業訓練の実施にあたり、業務上必要となる資格取得及び指導技術の向上等が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	職業訓練における安全確保や新しい技術・技能への対応等を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	法令に基づくものやカリキュラムでの必要性などを踏まえ、優先順位の高いものから受講している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 経験年数等に応じて習得すべきスキルを整理し、計画的に研修を受講していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職業訓練指導員に必要なスキルを整理し、階層や専門分野等に応じた研修を受講していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	無し
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	無し